

よい仕事と協同労働について-ワーカーズコープ入門編6-

日本労働者協同組合（ワーカーズコープ）連合会

センター事業団 未来人財部部長

藤田 徹

1. なぜ、「よい仕事」が7つの原則の第1原則なのか

- ・ 失対終息の教訓—働くかない労働者たち
- ・ 労協運動における「よい仕事」の歴史—「捨てるゴミの向こうに人がいる」
- ・ 「当事者主体」「市民主体の公共とは」「経営改革」など
- ・ 「よい仕事」は、労働者の願いであり誇り

2. 協同労働の「よい仕事」とは何か

- ・ 「命の輝き」とよい仕事—命とは何か（例）ふじみ野そらまめ地福
- ・ 「協同労働のよい仕事」にこだわる視点の大切さ
- ・ 「よい仕事」を生み出せない社会的背景に目を凝らす

3. 協同労働とよい仕事は一体のもの

- ・ ある職場での出来事—「大切にする価値」と「対話」「対等性」を大切にする「協同労働」の軽視
- ・ 協同労働とよい仕事の分離に気を付ける
- ・ 法制化—協同労働の目的の明確化（持続可能な地域社会の実現と、出資・意見反映・労働の3原則）

4. 法制化時代の「よい仕事」を問い合わせ続ける

- ・ 利用者、市民とともに仕事おこし、まちづくりに取り組む時代
(例) 浦安地福、那須塩原地福